

## 推進計画に掲げる成果指標と目標値について (赤字：昨年度から上昇した指標)

施策の方針	施策	指標名	現 状 値			目標値 (2028)
			計画策定 <sub>(2016)</sub>	昨年報告 <sub>(2021)</sub>	今回報告 <sub>(2022)</sub>	
1. 都市機能・生活機能の集約・強化	① 都市機能の誘導や高質化	都市機能誘導区域内の誘導施設の立地率	84.0% (H28)	86.5% (R3)	86.5% (R4)	100%
	② 中心市街地の魅力の強化	中央商店街の歩行者通行量	130,566人 (H28)	111,704人 (R3)	<b>121,955人</b> (R4)	133,000人
2. 居住人口の維持・誘導 (居住誘導に関する直接的な施策)	③ 定住人口の維持・誘導	居住誘導区域内の人口密度	46.4人/ha (H28)	45.1人/ha (R3)	44.9人/ha (R4)	46.4人/ha
	④ 選ばれる地域づくりの推進	居住誘導区域内の社会増	△502人 (H28)	△236人 (R3)	<b>322人</b> (R4)	700人
3. 地域の暮らしやすさの向上 (居住誘導区域内での取組)	⑤ 良好な居住環境の創出	居住誘導区域内からの転居及び転出率	4.61% (H28)	4.76% (R3)	4.77% (R4)	4.40%
	⑥ 人との繋がりのある地域づくりの推進	住民主体によるサービスを提供している地区の割合	13.6% (H29.10)	61.3% (R3末)	<b>63.6%</b> (R4末)	100%
4.					<b>9路線</b> (R4)	18路線
					<b>11.8%</b> (R3)	17.3%
5.					112.4% (R4)	133.8%
6. 市街地拡大の抑制	⑩ 土地利用の適正化	居住誘導区域外の開発許可面積比率	0.18% (H28)	0.13% (R3)	0.14% (R4)	0.07%
	⑪ 市街地の有効活用	中心市街地の居住人口の割合	4.8% (H28)	4.7% (R3)	4.7% (R4)	5.1%
7. 誘導区域外においても住み続けられる生活環境の維持	⑫ 拠点との連携の確保	地域と連携したコミュニティバスの路線数	1路線	2路線	2路線	8路線
	⑬ 豊かな自然と調和した生活環境の維持	農地中間管理事業等による担い手への農地集積率	20.6% (H28)	28.2% (R3)	<b>29.5%</b> (R4)	40.0%

2- については、居住誘導区域内に人口を増やすことを目標にした指標であり、区域内の流出入を算出したものである。  
 3- については、居住誘導区域から転居、転出する人を抑えることを目標にした指標であり、区域内からの流出のみを加味している。  
 そのため、社会増がプラスであっても割合に影響は与えない。